

業界初のオートフロア機能付き鉄道コンテナを開発



(オートフロア機能付き31ft鉄道コンテナ)

センコー株式会社(大阪府大阪市、社長:福田泰久、以下、センコー)は、オートフロア機能搭載の新型鉄道コンテナを完成させ、2012年11月26日に鉄道輸送の関係者に披露しました。オートフロア機能を搭載した31ftコンテナは、業界初となります。

オートフロアは、主にトラックで利用されてきた装置で、荷台の床を電動でスライドさせるためのものです。荷物を荷室の入口に積み、床ごと奥にスライドさせることで荷室の奥まで荷物を移動できます。これにより、積み降ろし作業者は荷室内で作業を行うことなく荷室の奥まで積み込みを行うことができ、作業時間を短縮化して業務の効率化を行うとともに、作業者の業務負担の軽減を図ることができます。

現在、鉄道利用運送の業界では、コンテナへの荷物の積み降ろしの多くは手作業で行われており、センコーは作業効率化のために、オートフロア機能を鉄道コンテナに搭載することを検討していましたが、この度、オートフロア付き31ftコンテナを株式会社総合車両製作所(略称:J-TREC、本社:神奈川県横浜市、社長:宮下直人)殿、ナカオ工業株式会社(和歌山県有田郡広川町、社長:中尾正廣)殿と共同開発しました。センコーはお客様に対し、この新型コンテナを利用した効率的な荷役作業とモーダルシフトを合わせて提案します。

また、センコーでは他にも新しい機能を持つ様々な鉄道コンテナの開発を進めており、今後も、鉄道利用運送の利便性向上を図ることで、よりお客様のニーズに合わせたモーダルシフトをご提案していく考えです。

(コンテナ内部の様子)



※「オートフロア」はナカオ工業株式会社殿の登録商標です。

以上